

高知県感染症発生動向調査（月報）

2019年2月

高知県感染症情報センター

高知県衛生研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第6週(2月4日～)から第9週(～3月3日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における2月の上位6疾患の合計は92.90と1月の4週換算値207.14と比べて著しく減少した。その主因はインフルエンザの減少である。インフルエンザは、第2週から警報値30を超えていたが第4週をピークとして減少に転じ、第8週から終息を示す10を下回った。病原体検出情報によると、流行開始期の2018年第48週～52週は、AH1pdm09が72.2%、AH3が27.0%、B(ビクトリア系統)が0.5%だった。しかし、直近の5週間、2019年第4週～8週では順位が入れ替わり、AH3が67.8%と最多で、AH1pdm09が30.6%、B(ビクトリア系統)が1.1%、B(山形系統)が0.5%となった。

1位はインフルエンザで53.69(1月1位4週換算値167.26)と著しく減少した。2位は感染性胃腸炎で23.06(同2位24.47)と横ばい、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.97(同3位7.98)と少し増加した。4位は伝染性紅斑で2.23(同4位3.09)、5位は流行性角結膜炎で2.21(同5位2.83)といずれも少し減少した。6位がRSウイルス感染症で1.74(同6位1.50)と微増した。

2018年来の全国的な風疹流行は続いており、後で詳しく述べるとおり、風疹の予防接種機会がなかった39～56歳の男性を対象に、4月から抗体検査を前置した上で、定期接種が実施される予定である。

また、麻疹の新たな流行が始まった。三重県では2019年初旬から、研修会を発端に集団感染が報告され、その後、家族・医療機関・学校での接触で麻疹患者が報告された。三重県を上回る届出数となっているのは大阪府で、2019年2月に商業施設の従業員が発症し、同僚や利用客に二次感染し集団発生した。他の自治体でも複数届出が相次いでいる。この現状を受けて、2019年2月18日に厚労省は「麻疹発生報告数の増加に伴う注意喚起について」(健感発0218第1号)を自治体に発出した。

2019年第1～7週に診断された麻疹報告数は221例であり、うち検査診断例が197例(89%を占め、内訳は修飾麻疹が39例、(典型)麻疹が158例)であった。年齢は中央値23歳(範囲0歳～72歳)で性差はなかった。都道府県別報告数は、大阪府77例、三重県49例、愛知県20例、東京都14例、京都府9例、神奈川県8例、和歌山県7例、岐阜県・広島県各5例、千葉県4例、北海道・茨城県・静岡県各3例、栃木県・埼玉県・滋賀県・兵庫県・奈良県・沖縄県各2例、岩手県・熊本県各1例であった。推定感染地域は国内が170例以上で、国内での流行が主体である。予防接種歴については、無しが84例(38%)、不明が72例(33%)、1回が38例(17%)、2回が27例(12%)であった。2回接種歴ありの27例のうち15例は軽症で修飾麻疹であった。麻疹ウイルスの遺伝子型はD8型69例(95%)、B3型3例(4%)、不明1例(1%)である。

国内における麻疹感染拡大防止策で最も重要なのは、麻疹風疹混合ワクチンによる2回の定期接種の徹底である。加えて、感染者の早期探知と迅速な対応も欠かせない。1例でも麻疹患者と診断した時点で、各関係機関の協力のもとで迅速な接触者調査と対応を行うことが必要となる。病院が主たる二次感染の場となることを周知し、麻疹が疑われる患者は、いきなり受診せず、事前に医療機関に電話で伝えた上で受診することが重要である。医療機関においては、院内感染対策の再確認、徹底が必要である(医療機関での麻疹対応ガイドライン 第七版, 2, 018年5月を参照されたい)。

1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	6週	7週	8週	9週	計
1	インフルエンザ		26.28	12.49	8.99	5.93	53.69
2	感染性胃腸炎		6.03	5.09	5.99	5.95	23.06
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.52	2.07	2.67	2.71	9.97
4	伝染性紅斑		0.57	0.50	0.59	0.57	2.23
5	流行性角結膜炎		0.64	0.54	0.54	0.49	2.21
6	RSウイルス感染症		0.42	0.41	0.44	0.47	1.74

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の2月の上位6疾患の合計は78.50で1月の4週換算値217.85と比べて大きく減少し、全国よりも少なかった（表2）。インフルエンザは、高知県では12月の52週に注意報値10を上回り流行が始まったが、2019年第1週から警報値の30を超え、第8週から警報終息の基準である10を下回った。全国の趨勢と異なり、高知県では12月の流行開始以降、AH3が59株（79.7%）で最も多く、AH1pdm09 14株（18.9%）、B/Victoria 1株（1.4%）と続き、一貫してAH3が優位を保っている。

風疹は全国で流行しており、先天性風疹症候群例が1例埼玉県から報告された。高知市で49週、51週、52週と各1例風疹の報告があり、二次感染が確認されたが、その後に発症の報告はない。

麻疹は、四国での流行は未だ報告されていないが、高知県では2000/2001の大流行以降に流行がないことから、免疫の減衰も危惧される。麻疹患者が発生したときの対応を確認して、マスコミの批判を浴びた大阪府の某病院事例の二の舞にならないように準備したい（医療機関での麻疹対応ガイドライン 第七版, 2018年5月を参照のこと）。

1位はインフルエンザで44.51（1月1位4週換算値187.93）と著明に減少した。2位は感染性胃腸炎で18.63（同2位19.42）と横ばいで、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.87（同3位6.02）と増加した。4位はRSウイルス感染症で2.70（同9位0.79）と増加、5位は流行性角結膜炎で2.66（同4位1.59）と増加、6位はマイコプラズマ肺炎で1.13（同6位1.31）とわずかに減少した。上位1～3位の疾患は全国よりも少なく、4～6位の疾患はいずれも全国よりも多かった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	5週	6週	7週	8週	9週	計
1	インフルエンザ	22.21	10.42	7.98	3.90	44.51	
2	感染性胃腸炎	5.83	4.47	4.33	4.00	18.63	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.10	1.20	2.67	2.90	8.87	
4	RSウイルス感染症	0.20	0.53	0.77	1.20	2.70	
5	流行性角結膜炎	0.00	0.33	1.00	1.33	2.66	
6	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.38	0.50	0.25	1.13	

2. 全体の傾向

県内では麻しん、風しんの報告無し。

しかしながら、全国で風疹の流行は持続している。2018年の報告が累積で2,914例にのぼった。2019年第1週～7週の報告数は473人であった。49週に高知市から成人の風疹が1例、続いて51週、52週と二次感染の2例が報告された。本県では20年以上にわたって本格的な流行がなかったこと、予防接種未施行者が中年以降に数多く存在することなどから、流行に結びつく可能性が高い。

風疹の最大の問題は先天性風疹症候群CRSである。2015年以降に報告がなかったCRSが第4週に埼玉県から1例報告された。2012年（風疹患者2,386人が報告）～2013年（患者14,344人が報告された）の風疹流行で、45例のCRSを出したことは記憶に新しい。2012～13年の流行に引き続き今回の流行も主たる患者の年齢層は、定期予防接種の対象外であった30～50歳代男性である。2020年までに流行が鎮静化しなければ、東京オリンピックでも深刻な検討が必要な案件となるだろう。

予防接種制度の変遷によって、30～50代の男性に蓄積した感受性者を早急に減少させることが、今回の風疹流行を抑制するためのカギとなる。このため、厚生労働省は『2019年～2021年度末の約3年間にかけて、これまで定期接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（現在39～56歳）を対象に、風疹の抗体検査を前置した上で、定期接種を行う』と発表した。抗体検査および接種率向上のために休日の予防接種や実施場所、方法について検討が必要である。

各事業所の産業医、健康管理業務者への啓発が必要であり、2014年に国立感染症研究所が作成した「職場における風しん対策ガイドライン」を参照されたい。妊婦、産科医師への啓発も重要である。日本産婦人科学会による「産婦人科診療ガイドライン2017年版」にあるとおり、妊娠中の検査で風疹HI抗体価が低いもの（ ≤ 16 倍）には、産褥早期の風疹（またはMR）ワクチン接種が勧められている。これを推進すれば、次の妊娠では先天性風疹症候群を回避することができる。もちろん麻疹風疹ワクチン定期接種の対象者（1歳児と就学前の児）はすぐに接種を済ませてほしい。

全国における麻疹流行については前項で詳しく述べた。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 2,136名(1月 11,276名)。第1週から警報値30を超え、1月は1か月の報告数として2009年以降で最高を記録したが、2月になって激減し、第8週以降は注意報基準値の10を下回った。いわば短期間集中の爆発型流行になりそうである。

県下全域で報告されたが、幡多、須崎、高知市、中央東、中央西、安芸の順に多い。ウイルスはAH3 NTが29件、AH1 pdm09が4件、B/Victoriaが1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 18名(1月 21名)。須崎、幡多、高知市、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは感染性胃腸炎の患者からAdenovirus 5型が1件、検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 266名(1月 226名)。平年並みの報告数である。県下全域から報告があったが、特に須崎、高知市、幡多、安芸から多く報告があった。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 559名(1月 728名)。例年と比べ少なめの報告数で推移している。県下全域から報告があり、特に中央西、高知市から多く報告された。病原体は、Norovirus GII NT、Astrovirus NT、Adenovirus 5型が各1件検出された。

5) 水痘

報告数 25名(1月 42名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。高知市、幡多、須崎、中央西、中央東の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 1名(1月 11名)。初夏に流行が始まる感染症で、2017年は過去10年で最大の流行となった。8月以降は減少増加をくりかえし、2018年に入っても完全に終息しないまま、5月から再び流行が拡がり続いていたが、ようやく終息した。ウイルスはEnterovirus 71が2018年1月以降で合計21件検出された。Coxsackievirus A16の検出が2018年7月以降で合計17件検出されていて、流行ウイルスのシフトが認められた。2月にウイルスは検出されていない。

7) 伝染性紅斑

報告数 23名(1月 59名)。1月は全国的な流行が取り上げられていたが、2月は平年並みの報告数となった。中央西、高知市、中央東、安芸から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 24名(1月 36名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 1名(1月 3名)。2018年は遅れて8月から増加し、11月以降は減少し終息した。安芸から1例のみ報告された。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 2名(1月 2名)。2017年夏以降は、少ない数字で推移している。中央東と高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 81名(1月 30名)。2017年の8-9月は季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間ですべての月間報告数のうちで最多であったが、10月以降は減少していた。2018年も昨年同様に夏季からの流行開始で、9月としては昨年に次ぐ大きな流行になったが10月以降は減少していた。1月から2月にかけて増加することはよく

観察されるが、3月の週報でも増加傾向にある点は注意が必要である。なぜならば、高リスク乳幼児に対してパリビズマブがRSウイルスの予防目的に用いられるが、その投与期間について再考の余地があるからである。幡多、中央西、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 8名 (1月 6名)。2018年8月は過去10年間で最多の報告を記録した。高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (1月 0名)。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (1月 0名)。2017年から少ない報告数で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 9名 (1月 13名)。高知市から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 21名 (1月 30名)。平年並の変動の範囲である。高知市=安芸、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (1月 1名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例の報告があり、2019年はこれまで1例である。

高知県感染症発生動向調査部会

前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患 (平成31年2月)

類型	病名	報告月		総計
		1月	2月	
2	結核	11	10	21
4	レジオネラ症	1	1	2
5	ウイルス性肝炎	1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	8
	急性脳炎	1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	5
	梅毒	2	4	6
	百日咳	13	20	33
	総計	35	43	78

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2019年

2月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	55	457	756	199	205	464	2,136	11,276	10,173	
小児科	咽頭結膜熱		2	4	1	6	5	18	21	17	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	24	139	16	31	42	266	226	187	
	感染性胃腸炎	26	103	235	96	30	69	559	728	389	
	水痘		1	19	1	1	3	25	42	20	
	手足口病		1					1	11	34	
	伝染性紅斑	1	6	10	6			23	59	4	
	突発性発疹	1	6	8	4	2	3	24	36	27	
	ヘルパンギーナ	1						1	3	2	
	流行性耳下腺炎		1	1				2	2	1	
	RSウイルス感染症		9	20	14			38	81	30	51
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			8				8	6	2	
STD	性器クラミジア感染症			1				1		1	
	性器ヘルペスウイルス感染症								1		
	尖圭コンジローマ								1		
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎									1	
	無菌性髄膜炎									1	
	マイコプラズマ肺炎			9				9	13	6	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1	1	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			8				8	5	6	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	1	15			2	21	30	20	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1		
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		101	611	1,233	337	275	626	3,183	12,492	10,943	
前月		423	2,798	5,122	1,439	893	1,817				
前年同月		421	2,032	3,932	1,359	935	2,264				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

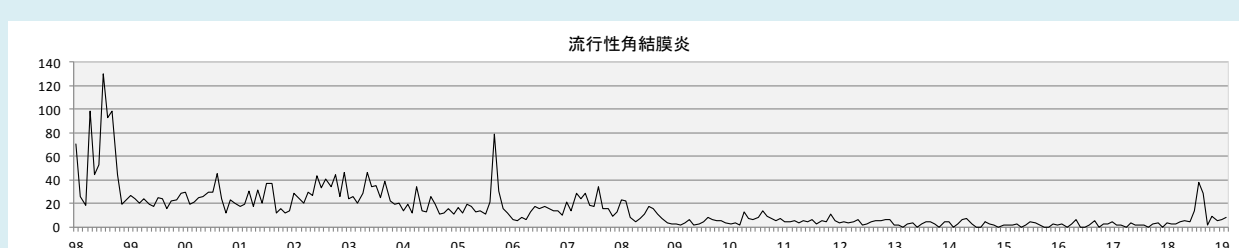
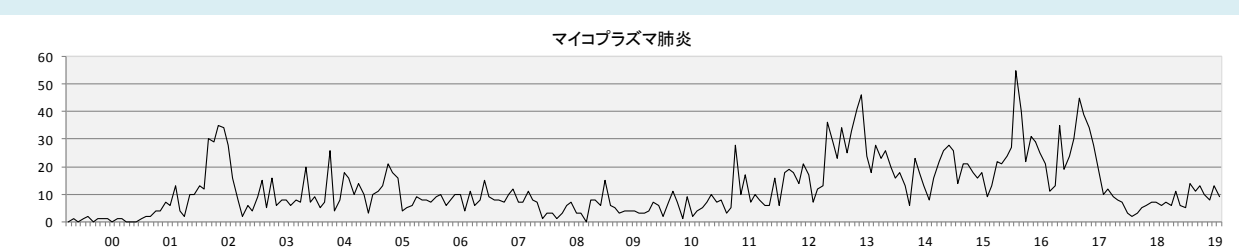
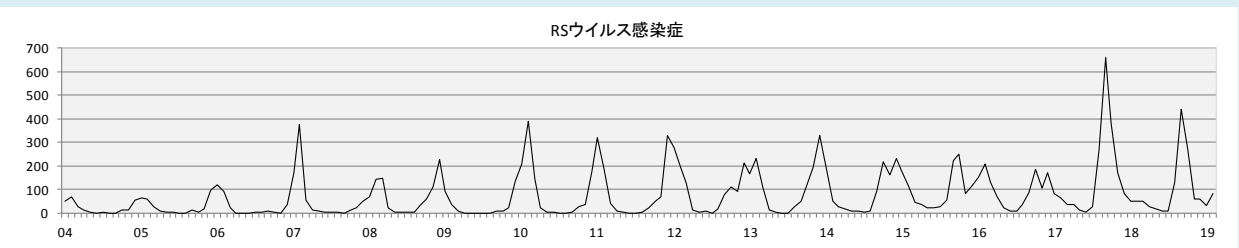
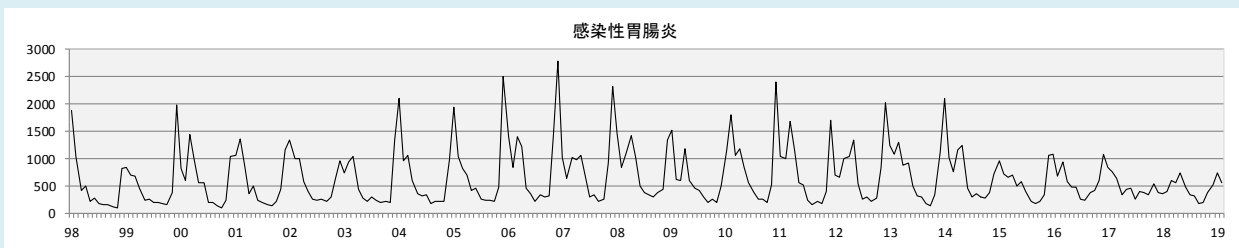
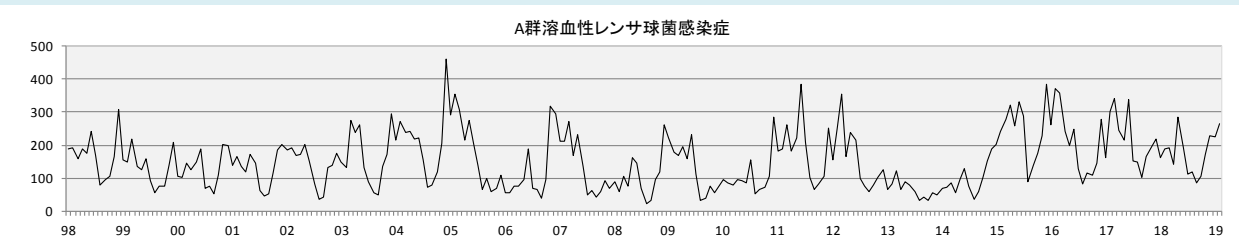
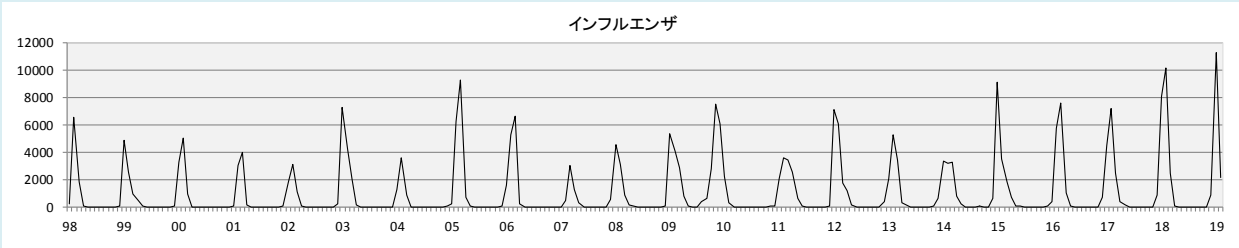
2019年

2月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	13.75	41.55	47.25	39.80	51.25	58.01	44.51	234.91	211.94	
小児科	咽頭結膜熱		0.29	0.36	0.33	3.00	1.00	0.60	0.70	0.57	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.00	3.42	12.63	5.33	15.50	8.40	8.87	7.53	6.24	
	感染性胃腸炎	13.00	14.71	21.37	32.01	15.00	13.80	18.63	24.27	12.97	
	水痘		0.14	1.73	0.33	0.50	0.60	0.84	1.41	0.66	
	手足口病		0.14					0.03	0.36	1.14	
	伝染性紅斑	0.50	0.86	0.90	1.99			0.76	1.97	0.13	
	突発性発疹	0.50	0.86	0.72	1.33	1.00	0.60	0.80	1.20	0.89	
	ヘルパンギーナ	0.50						0.03	0.09	0.06	
	流行性耳下腺炎		0.14	0.09				0.07	0.06	0.03	
	RSウイルス感染症		1.28	1.81	4.67		7.60	2.70	0.99	1.69	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			8.00				2.66	1.99	0.66	
STD	性器クラミジア感染症			0.50				0.17		0.17	
	性器ヘルペスウイルス感染症								0.17		
	尖圭コンジローマ								0.17		
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎									0.13	
	無菌性髄膜炎									0.13	
	マイコプラズマ肺炎			1.80				1.13	1.64	0.76	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.13	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			1.60				1.01	0.64	0.76	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.00	1.00	3.00			2.00	2.63	3.75	2.50	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								0.13		
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		35.25	63.39	86.86	85.79	86.25	90.01	77.84	273.49	236.32	
前月		112.25	267.30	332.26	303.79	238.00	238.90				
前年同月		118.50	192.43	253.88	277.92	240.50	290.14				

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成31年2月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

2月はウイルス93件、細菌1件の搬入があり、そのうちウイルス43件の病原体を検出し、また、平成31年1月に搬入された検体でウイルス9件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 3 2件、Adenovirus 5 1件、Adenovirus 41 1件、Astrovirus NT 1件、Cytomegalovirus 2件、Echovirus 11 1件、Human herpes virus 6 2件、human metapneumovirus 1件、Influenza virus A H1pdm09 4件、Influenza virus A H3 NT 29件、Influenza virus B/Victoria 1件、Norovirus GII NT 2件、Rhinovirus 1件、Rotavirus group A G3 1件、Sapovirus genogroup unknown 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	3	女	—	嘔吐、嘔気	ふん便	1/15	Adenovirus 41
2	3	男	手足口病	39°C、下痢	ぬぐい液	1/17	Adenovirus 3
3	5	女	不明発疹症	39°C、発疹	ぬぐい液	1/17	Echovirus 11
4	1	男	上気道炎	40°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	1/21	Adenovirus 1
5	10ヶ月	男	不明発疹症	39°C、下痢、発疹	ぬぐい液	1/21	Cytomegalovirus
6	4	男	感染性胃腸炎	38°C	ふん便	1/23	Rotavirus group A G3
7	11ヶ月	男	—	39°C	ぬぐい液	1/25	Adenovirus 2
8	1	男	水痘(?)	38°C、発疹	ぬぐい液	1/25	Adenovirus 3
9	2	男	川崎病	39°C、発疹	鼻腔	1/25	Cytomegalovirus
10	12	女	インフルエンザ	38°C、咳嗽	ぬぐい液	1/29	Influenza virus A H3 NT
11	11	女	インフルエンザ	39°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	1/30	Influenza virus A H1pdm09
12	5	女	インフルエンザ	39°C、嘔吐、嘔気、腹痛	ぬぐい液	1/30	Influenza virus A H3 NT
13	2	女	インフルエンザ	39°C	ぬぐい液	1/31	Influenza virus A H3 NT
14	9	女	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/1	Influenza virus A H3 NT
15	12	女	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/1	Influenza virus A H3 NT
16	39	男	インフルエンザ	38°C、筋肉痛	ぬぐい液	2/2	Influenza virus A H3 NT
17	6	女	インフルエンザ	40°C	ぬぐい液	2/2	Influenza virus A H3 NT
18	8	男	インフルエンザ	40°C	ぬぐい液	2/2	Influenza virus A H3 NT
19	1	女	—	38°C	ふん便	2/3	Sapovirus genogroup unknown
20	4	女	インフルエンザ	咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H1pdm09
21	7	男	インフルエンザ	38°C、嘔吐、嘔気	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
22	5	男	インフルエンザ	39°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
23	8	女	インフルエンザ	38°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
24	4	男	インフルエンザ	40°C、気管支炎	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
25	1	女	インフルエンザ	38°C、嘔吐、嘔気、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
26	6	女	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
27	6	女	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
28	1	男	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
29	6	男	インフルエンザ	38°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
30	3	男	インフルエンザ	41°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
31	2	女	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/4	Influenza virus A H3 NT
32	7	女	インフルエンザ	38°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	2/5	Influenza virus A H3 NT
33	1	男	不明発疹症	39°C、発疹	ぬぐい液	2/5	Human herpes virus 6
34	3	女	感染性胃腸炎	39°C、下痢、嘔吐、嘔気、腹痛	ふん便	2/6	Astrovirus NT
35	2	男	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、腹痛、咳嗽	ふん便	2/6	Norovirus GII NT
36	3	女	—	—	ぬぐい液	2/7	Human herpes virus 6
37	1	男	—	下痢、嘔吐、嘔気	ふん便	2/7	Norovirus GII NT
38	1	女	上気道炎	40°C、嘔吐、嘔気、上気道炎	ぬぐい液	2/8	Human metapneumovirus
39	2	女	インフルエンザ	39°C、咳嗽	ぬぐい液	2/9	Influenza virus A H1pdm09
40	7ヶ月	男	感染性胃腸炎、腸重積	38°C、嘔吐、嘔気、腹痛、咳嗽	ふん便	2/9	Adenovirus 5
41	2	男	インフルエンザ	40°C、咳嗽	ぬぐい液	2/12	Influenza virus A H3 NT
42	49	男	インフルエンザ	37°C、咳嗽	ぬぐい液	2/12	Influenza virus A H3 NT
43	1	男	インフルエンザ	39°C、咳嗽、上気道炎、下気道炎	ぬぐい液	2/12	Influenza virus A H3 NT
44	2	男	上気道炎	40°C、上気道炎	鼻咽腔	2/17	Rhinovirus
45	8	男	インフルエンザ	39°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	2/18	Influenza virus A H3 NT
46	7	女	インフルエンザ	40°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	2/18	Influenza virus A H3 NT
47	40	女	インフルエンザ	38°C、咳嗽、気管支炎	鼻咽頭ぬぐい液	2/18	Influenza virus A H3 NT
48	2	男	インフルエンザ	38°C、咳嗽	ぬぐい液	2/20	Influenza virus A H3 NT
49	5	男	インフルエンザ	41°C、咳嗽、上気道炎、下気道炎	ぬぐい液	2/22	Influenza virus A H3 NT
50	37	女	インフルエンザ	39°C、咳嗽、上気道炎	ぬぐい液	2/22	Influenza virus A H3 NT
51	14	男	インフルエンザ	39°C	ぬぐい液	2/23	Influenza virus B/Victoria
52	3	女	インフルエンザ	39°C、上気道炎	ぬぐい液	2/26	Influenza virus A H1pdm09

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2018年												2018年	2019年		2019年	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計	1	2	総計	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>			1			1	1						3	1		1	
	<i>Streptococcus pyogenes T3</i>			1										1				
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>				1		1	1						3				
	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>						1							1				
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>					2		1	1		4	2	1	11				
	Epstein-Barr virus													2				
	計			2	1	2	3	1	3		4	2	3	21	1		1	
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	17	12	7	1	1								7	45	23	29	52
	Influenza virus A H1pdm09	28	3		1									2	34	8	4	12
	Influenza virus B /Victoria	3	1		2										6		1	1
	Influenza virus B Yamagata	21	7	4	3										35			
	Human metapneumovirus															1		1
	Rhinovirus													1	1			
	計	69	23	11	7	1							10	121	32	34	66	
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1					2					1		4				
	Adenovirus 2	1	1		2	1		1						6				
	Adenovirus 8								1	1				2				
	Cytomegalovirus					1								1				
	Enterovirus 71										1			1				
	Herpes simplex virus 1							1						1				
	Human herpes virus 6								1					1				
	Rhinovirus			1							2		1	1	5			
	計	2	1	1	2	2	2	2	2	3	1	2	1	21				
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			1		1		1	1	1		1		8				
	Adenovirus 3											1		1				
	Adenovirus 5															1	1	
	Adenovirus 40/41				1									1				
	Adenovirus 41				1	2	1							2	6			
	Astrovirus NT			1			1							2		1	1	
	Coxsackievirus A4											1	1	2				
	Coxsackievirus A9								1					1				
	Echovirus 7								1					1				
	Echovirus 11													1	2			
	Enterovirus 71					1								1				
	Enterovirus NT											1		1				
	Human metapneumovirus								1					1				
	Norovirus GI NT				1									1	1	1	1	
	Norovirus GII NT	5	1	1	3	2	2	2	2					4	22	2	1	3
	Rotavirus group AG3															1		1
	Rotavirus group AG9				1		1								2			
Rhinovirus							1			1				2				
Sapovirus genogroup unknown	2			2	4	1	1	3			2	3	5	23	2		2	
<i>Salmonella Enteritidis</i>					1		1	1					1	4	1		1	
	計	7	1	3	9	11	6	9	7	3	4	6	15	81	7	3	10	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A2								1					1				
	Coxsackievirus A4									1	2			3				
	Coxsackievirus A9								1		1			2				
	Coxsackievirus A10											1		1				
	Cytomegalovirus					1								1				
	Enterovirus 68										1			1				
	Human herpes virus 6									2				2				
	Parainfluenza virus 3									1				1				
	計				1		1	4	3	3			12					
手足口病	Adenovirus 1				1			1						2				
	Adenovirus 3														1		1	
	Coxsackievirus A4											1		1				
	Coxsackievirus A9							1	1					2				
	Coxsackievirus A16							1	5	7	2			2	17			
	Cytomegalovirus							1	1	1				3				
	Enterovirus 71	2	1		2	1	3	7	2	2				1	21			
	Echovirus 7				1									1				
	Epstein-Barr virus	1												1				
	Human herpes virus 6					1								1				
	Human herpes virus 7						2		1					3				
	Human parvovirus B19										1			1				
	Herpes simplex virus 1				1	2		1						4				
	Rhinovirus						3	5			1	1	2	12				
	計	3	1		5	4	8	17	10	12	3	3	3	69	1		1	
流行性角結膜炎	Adenovirus 2																	
	Astrovirus NT							1						1				
	Rhinovirus						1							1				
	計						1	1					2					

臨床診断名	病原微生物	2018年												2018年	2019年		2019年	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計	1	2	総計	
伝染性紅斑	Cytomegalovirus					1									1			
	Coxsackievirus A9							1							1			
	Herpes simplex virus 1							1							1			
	Human herpes virus 7								1						1			
	Human metapneumovirus				1										1			
	Human parvovirus B19													1	1			
	Rhinovirus								1		1				2			
計				1		1		3	1	1		1		8				
流行性耳下腺炎	Epstein-Barr virus											1		1		1	1	1
	Herpes simplex virus 1															1		1
	Human herpes virus 7											1		1				
	Parechovirus 1								1						1			
計								1				2		3		2	2	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4		1												1			
	Echovirus 7										1				1			
	Human herpes virus 7								1					1	2			
	Herpes simplex virus 1								1					1	2			
	Parechovirus 3								1						1			
	Rhinovirus											1			1			
計		1						3		2		1	1	8				
RSウイルス感染症	Coxsackievirus A4											1		1				
	Respiratory syncytial virus									1	3			4				
	Respiratory syncytial virus A		1											1				
	Respiratory syncytial virus B						1							1	2			2
	Rhinovirus						1							1				
計		1				2			1	4			8		2		2	
水痘	Varicella-zoster virus																	
	計																	
突発性発疹	Adenovirus 2												1	1				
	Cytomegalovirus						2							2				
	Enterovirus 71							1						1				
	Human herpes virus 6		1			1								2				
計		1			1	2	1						6					
その他	Adenovirus 1					1			1					2	1			1
	Adenovirus 2		1		1	1	5	1			1	2		12	1			1
	Adenovirus 3												1	1	1			1
	Adenovirus 5				1		1							2				
	Adenovirus 6													1	1			
	Adenovirus 8					1								1				
	Adenovirus 11												2	2				
	Adenovirus 31													1	1			
	Adenovirus 41				1	1								2	1			1
	Adenovirus 54												1	1				
	Astrovirus NT						1							1				
	Coxsackievirus A4											3		3				
	Coxsackievirus A9							2	20	2			1	25				
	Coxsackievirus A10										1			1				
	Coxsackievirus B2									1				1				
	Coxsackievirus B4			1	1									2				
	Cytomegalovirus		1		1			2	2	3			3	1	13	2		2
	Echovirus 7								1		1	1		3				
	Echovirus 11															2		2
	Echovirus 18											1		1				
	Echovirus 25										1			1				
	Enterovirus 68											1	1	2				
	Enterovirus 71							1	2	1				4				
	Epstein-Barr virus		1	1					1	1		2		6				
	Herpes simplex virus 1		1	1	1	2		3	3	1			1	13				
	Human herpes virus 6		2	1	1	2	3	2	3			1		15			2	2
	Human herpes virus 7		1			3	2	1	4	3	1	1	3	1	20			
	Human metapneumovirus		3	1	4	2	2						1	1	14		1	1
	Human parvovirus B19								1	1	2			5				
	Influenza virus A H3 NT															1		1
	Influenza virus A H1pdm09		1									1		2		1		1
	Influenza virus B Yamagata				2									2				
	Norovirus GII NT		1				1		1			1		4		4	1	5
	Parainfluenza virus 2		1											1				
	Parainfluenza virus 3					1	1	5	4		1			12				
	Parechovirus 1										1			1				
	Parechovirus 3									1	1	1		3		1		1
	Respiratory syncytial virus A												2	2				
	Respiratory syncytial virus B												1	1				
	Respiratory syncytial virus									1	2			3				
	Rhinovirus					1	5	2	5	2	16	8	6	4	49	3	1	4
	Rotavirus group AG1								1					1				
Rotavirus group AG3								1					1					
Sapovirus genogroup unknown								1				1	2			1	1	
Enteropathogenic <i>Escherichia coli</i> OUT												1	1					
計		13	7	11	14	22	22	49	18	31	25	20	8	240	18	6	24	
総計		97	33	29	39	48	43	87	46	59	42	36	41	600	63	43	106	

類型	病名	報告年																														総計
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	4	21	1575									
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	4	21	1575									
3	コレラ	1					1						1										3									
	バラチフス	2																					2									
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2												2		27									
	腸チフス	1							1										1				3									
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5		2	34	2		193									
計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5		3	34	4	0	228										
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1		3						3	1				32									
	Q熱	1	1	2				1															5									
	オウム病			1		1															1		3									
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3			4	11		85									
	マラリア								2					1									3									
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6		2	59									
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6			149									
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1										6									
	レプトスピラ症											1		4	2	1					1		9									
	E型肝炎												1		1								2									
	デング熱												1				3	2	1				7									
重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5		29										
計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	0	2	389										
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5		41										
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3				1		2		1	57										
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	1	8	78									
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2		30										
	ジアルジア症		1	2	1							1			1	1							7									
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1		1			4									
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		1	19									
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1		1	3		1		3	5	2	1	21									
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	2		67									
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4			13									
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	6	62									
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1			4									
	播種性クリプトコックス症																			1	3	1	5									
	髄膜炎菌性髄膜炎									1													1									
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1			30									
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	3	6	166									
	百日咳																				13	33	46									
麻疹										5												5										
風しん										1	1				4	9	1					16										
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	28	55	672										
新型	新型インフルエンザ											34										34										
	計											34										34										
動物	鳥インフルエンザ												1									1										
	計												1									1										
総計		61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	32	78	2899									